

令和 2 年度 実践事例報告書

学校番号	農業 03	学校名	大阪府立園芸高等学校	担当教員名	平尾 豪基
ねらい (○印)	a) 知財の重要性 b) 法制度・出願 (c) 課題解決 (創造性開発・課題研究・商品開発等) d) 地域との連携活動 e) 人材育成 (学習意欲向上、意識変化等) f) 学校組織・運営体制				
関連法(○印)	(a) 特許・実用 (b) 意匠 (c) 商標 d) その他 ()				
年間の取組内容	実施時期	該当する要素の番号		知財学習の要素	
①教員対象知財教育セミナー	7	2, 3, 4, 6, 10, 11	1. 創造 創造し表現する体験	レ	(1)創造性を鍛える
②オリジナル加工食品の開発研究	8~1	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 10, 11		レ	(2)情報を利用する能力
③パテントコンテストへの応募	6~9	1, 2, 3, 4, 6, 7, 9, 10, 11, 12		レ	(3)発想・技術を表現する能力
④新たな食用キノコの栽培方法の確立と商品化	6~1	2, 3, 4, 5		レ	(4)観察力を鍛える
⑤廃棄果実を活用したオリジナル加工商品の開発	6~1	1, 3, 5, 6, 13		レ	(5)技術を体系的に把握する能力
⑥庭園や農業に関するデザインなどに関する意匠と特許	11	2, 3, 4, 6, 10, 11	2.保護 財産として保護・尊重する意識	レ	(6)商品や社会とのつながりの理解
⑦				レ	(7)保護・尊重する意識
⑧				レ	(8)技術等と権利の対応関係を把握する能力
⑨				レ	(9)手続の理解
⑩			3.活用 社会で活用する知恵と行動力	レ	(10)権利を活用する能力
⑪				レ	(11)産業や経済との関係性の理解
⑫			4.知識 社会制度の理解	レ	(12)制度の学習
⑬				レ	(13)専門家、資格制度の関する知識
令和 2 年度末における取組目標の達成見込	A	ほぼ達成(9割以上)	判 断 理 由	生徒の知財に対する理解度は深めることができたが(アンケート回答平均値 2.1→2.7)、新商品開発において、開発速度が想定以上に遅く、いまだ新しい園芸高校ブランドの新商品の完成に至ってはいない。	
	B	概ね達成(7割以上)			
	C	不十分である(6割以下)			
	D	ほとんど達成できていない(4割以下)			
実施方法	□全校で実施 ■教科・学科で実施 ■特別活動で実施 □その他()				

本取組の状況 (なるべく具体的な数値とともに記載をお願いします)	<ul style="list-style-type: none"> ・教員対象知財セミナーを実施し、セミナー実施後のアンケートにおいて、学校教育において知財に関する教育が必要であるという問いに対し、肯定的に捉えた者の割合が90%を超えた。 ・アイデア創出の練習を授業内で実施。 ・プロのデザイナーを招聘し、新商品を企画するノウハウを実践を通じて指導してもらう。 ・講座内パテントコンテストを実施し、応募件数 30 件のうち選考を経て 2 件をパテントコンテストへ応募。 	
最も成果が見られた取組 [③]	成果内容	・J-PlatPat による特許情報検索を用いて先行技術を知ることができた。
	生徒・学生に見られた変化	ブレインストーミングの練習を繰り返すことで連想できるワード数が増加した。 自身のアイデアや創作物が魅力的なものであると気付いた。(アンケートで回答の平均値が 2.9→3.1 に増加)
	その根拠	アンケートの結果、日々学んでいる技術等が知的財産であることへの理解度が向上した(アンケートで回答の平均値が 2.1→2.7)
今後の課題	知財学習をしている生徒が指導している教員に紐づいているため、学科や講座で限定されている。 生徒の学習評価の方法を統一した観点でできるものを作成することができなかった。	
課題への対応	セミナー等を実施して、知財教育に興味を示す教員を増やし、様々な授業で知財の観点で強化を指導する機会を増やしたい。 年度当初に共通のルーブリックやポートフォリオを作成し、それに沿った指導計画を立てたい。	

「本資料内の写真、イラスト、引用文献等の承諾が必要なものにつきましては、権利者の承諾を得ていることを申し添えます。」

<写真・図表等掲載欄>



図1. ソース会社との打ち合わせ



図2. ブレインストーミングの練習



図3. マンダラートを用いたアイデア発表

表1. アンケートの質問項目

①	小・中学校の時に、知的財産に関する授業を学びましたか
②	知的財産とは、何か知っていますか
③	自分の考えたアイデアや商品を売り出すことができると思いますか
④	日々学んでいる知識や技術が知的財産であることを理解(付加価値)していますか
⑤	自分たちのアイデアが、学校のブランド力を上げるのに貢献していると思いますか
⑥	今から取り組む課題研究や授業で、地域活性に役立てることができると思いますか
⑦	今取り組んでいる、知的財産関連の授業や課題研究に意欲的に取り組んでいますか
⑧	今取り組んでいる知的財産の授業では、自分の意見を積極的に発言し、自由な発想ができていますか

表2. 学科別アンケート集計結果の平均値

*1~4で評価

*質問①は6月のみ実施

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
FF 6月	2.5	2.9	3.1	2.3	3.2	3.1	3.2	2.6
BS 6月	2.3	2.6	2.9	2.1	2.7	3.0	3.2	2.7
BS 12月	/	2.7	3.0	2.7	3.1	3.1	3.3	2.7
KR 6月	2.5	2.8	2.5	2.0	2.2	2.6	2.5	2.1
KR 12月	/	3.1	2.0	2.5	2.4	2.6	2.8	2.3

取組2・3はバイオサイエンス科 (BS)

取組4・5はフラワーファクトリ科 (FF)

取組6は環境緑化科 (KR)